

平成28年度 草の根事業育成助成事業

放課後等デイサービス

「リトミックへのお誘い」

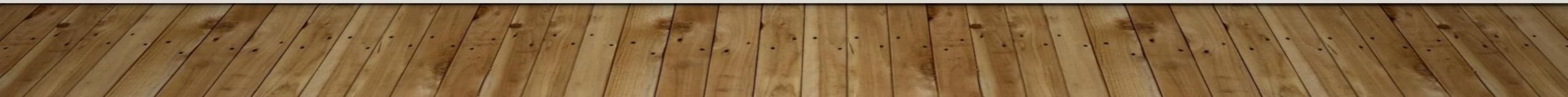
実施期間:平成28年4月～平成29年3月

会場:府中の森芸術劇場

一般社団法人ヴィフ

放課後デイサービス プティ フォンティーンヌ

施設長 永倉恵



一般社団法人ヴィフ 活動紹介

就労継続支援事業B型 毎日CAMP

- ・パン工房Lapin（製造・販売）
- ・ファーム（野菜等の収穫及び販売）

放課後等デイサービス プティ フォンティエヌ

- ・リトミック（障害児通所支援施設）

「課題」と「問題」

- ◇ 放課後等デイサービスは、公益、民間企業等の参入があり、淘汰の時期にきていると言われている。今回のヴィフ参入の特徴は、限られたスペースではあるが、音楽の持つ特性を発達に課題を抱えた児童・生徒に提供することによって呼び起こされる、感性の発達や身体表現の幅を広げようとする試みである。質の高いリトミックやリズムセクションが、感性を磨き、解放される体験が期待できる。発達に課題を抱えながらも、自由に自己を表現したり音楽やリズムを楽しんだり、心と身体をリラックスできる空間を提案する。

助成事業の実際と成果

◎収入

助成金	241,000円	
自己資金	242,168円	<u>計483,168円</u>

◎支出

人件費(指導者・アシスタント料)	65,000円	
交通費(指導者・アシスタント料)	5,744円	
備品購入費(打楽器、教材)	332,316円	
消耗品費(ポスター・チラシ用紙等)	5,598円	
広報費(ポスター・チラシ作成費)	5,600円	
その他経費(リトミック会場費等)	68,910円	<u>計483,168円</u>

助成事業の成果

- ◇ 障害児にむけての音楽的アプローチの場が少ない現状に対し、今回の「リトミックへのお誘い」を立案、月に一回の開催であったが一年を通して開催したことで、参加者の成長をはっきり見ることができた。
- ◇ 特に乳幼児期の子ども達には継続して支援していくことが必要であると感じた。
- ◇ 乳幼児親子向けリトミックを開催することで、個の身体機能を引き出すことに繋がり、感覚機能と知的能力を複合的に刺激していく方法を提案できると考える。学童期については放課後デイサービスの中でリトミック提案できる環境が整い開始。
- ◇ 乳幼児に関しても前年度同様月に一度乳幼児クラス開催を目標に準備していきます。

会場風景



第3練習室
Practice Room-3



現在の取り組み

◇放課後デイサービス プティフォティーヌとして障害児及び発達に課題を抱えている児童(6歳から18歳)に向けてリトミックをベースにHIPHOP、パーカッション、発声・歌、造形を曜日別で開催している。

これからの展望

- ◇ 個の身体機能を引き出す有用性を具体的な活動から検証し
リトミックを知らない人にも納得のいく説明ができるような体制
作りをしていきたい。

草の根事業育成財団から助成していただき
感謝申し上げます。